

# 新潟県教育界における「学閥」問題（第二十回）

いがた県民教育研究所「学閥」研究会

エピソード・連載を終えるにあたって

本連載もいよいよ終りを迎えることとなった。足かけ六年という思わぬ長期にわたる連載となったが、この間の御愛読に心から感謝申し上げる。なお本号には付録Ⅰとして連載二十回分の総目次を付した。なお付録Ⅱ図表類一覽、および付録Ⅲ「派閥」が支配しているポストの索引は次号に掲載する。連載が長期にわたったことと、常に「現在進行中」の事態を説明するという困難さから、全体の章立て等は必ずしもすっきりしたものにはなっていないが、「学閥」研究の体系はある程度、示したのではないかと考えている。

「派閥」の「力の源泉」は管理職ポスト支配にある。管

理職ポストを支配しているが故に、「派閥」は百年も存続し、公教育をその支配下においてきたのである。しかも、「派閥」への「加入条件」をみると、かつては「学閥」として、同窓であるという外面的な資格をその条件としてきたが、現在では「ときわ会」が女性を加入させない点をのぞいては建前的には外面的な資格は一切なく、また本人の拒否にあう以外には一応、内面的な資格も一切問題にされない。つまり現在の「派閥」は、外面的にも内面的にも無制限に教師を拘束しようとするインフォーマル組織であり、さまざまな粉飾をとり去ると、管理職ポストの利権支配という一点だけで組織・維持されている利権集団である。このような組織は、たとえば企業内の労働組合対策を目的としたインフォーマル組織などにも類せられようが、「派閥」

はそれにとどまらない。それは支配機構の補助機構にとどまらず、公権力（教育委員会）自身をも支配しているヤミ権力組織であるからである。公教育の不当支配の中枢にいる「派閥」幹部の社会的責任は追求されてしかるべきである。「会員」は勤務地（支部）と「年度」で二重に組織され、「閥内競争」としての「忠誠競争」が熾烈を極める一方で、「閥」に加入しない教師を少くとも公職の上で徹底的に差別している。今回は「派閥」の「組織化」の帰結としての各「派閥」の名簿の一部を参考までに紹介した（資料1～資料4（次頁））。

「派閥」に組織された教師たちは「疑似自発性」のもとでの「忠誠競争」を日々強いられる中で、正義と真実を愛する教師の魂は失われ、もっぱら奴隷根性が醇成される。つまり、「派閥」教師自身も、本人の主観的意図とは裏腹に、教師としての人間的発達を阻害されている。その点では「派閥」教師もまた「派閥」問題の犠牲者とも言えようが、しかし何よりもピエロのような「派閥」教師に教えられる明日をなう子どもたちこそが被害をこうむっているのである。公教育を私的な集団の支配から住民の手にとりもどすことは緊急の課題であり、新潟県の教育の正常化はまず「派閥」の解消から、ということを感じることから次第である。



第1図 「ときわ会報」および「公孫会報」の一例

## 役 所 の 部

(新潟支部の9)

(現職会員)

№	内 職	職名	氏 名	生年 (正数)	現/令	学 歴 (卒業)	免 許	郵便番号・住所・施設	備 考
104									
105	義務教育課	管理 主事	■■■■	52 (29) 小	$\frac{1}{32}$	西大校 (31)	小1 中1件(社)	〒950 新潟市西新1-8-20 Tel67-2609 和泉山荘	小千谷市山頂山 1802-4)
106	-	指導 主事	■■■■	54 (27) 小	$\frac{3}{34}$	新大 (27)	中1件(国)	〒951 新潟市白山通2丁目652-8 Tel33-6584 アパルト白山	附属中(5) 新潟市中央南(47年) 文芸青年中央南(58年)
107	-	-	■■■■	51 (30) 小	$\frac{1}{31}$	法政大 (通信) (34)	中1件(数)	〒950 新潟市松枝町1 松田庄2-3 Tel66-7779	上越青少年文化センター山 上越教育事務所指導主事山 義務教育課指導主事(1)
108	-	-	■■■■	50 (31) 中	$\frac{1}{28}$	新大 (33)	中1件 高2件 (社・英)	〒951 新潟市旭町2番町736の2 Tel22-8755 積山方	新潟市教員山 新潟市中央南(55) 新潟市中央南(58)
109	-	-	■■■■	49 (33) 中	$\frac{1}{25}$	新大 (35)	小1件 中1件 高2件 養学2	〒950 新潟市西森1-3-27 Tel44-7796 阪園二三郎方	
110	-	-	■■■■	48 (34) 中	$\frac{2}{27}$	新潟高田 分段 (34)	中1件 (百・国)	〒951 新潟市白山通2丁目 Tel67-5744 アパルト白山 4055	新潟市教員山 新潟市中央南(51) 新潟市中央南(58) 養 裕子(文太南小)
111	高校教育課	-	■■■■	46 (35) 小	$\frac{8}{32}$	新大 (37)	中1件 高1件 (英・工)	〒956 新潟市金沢町4-2-45 Tel0250-24-2228	
112	保健体育課	-	■■■■	50 (33) 小	$\frac{1}{30}$	新大 (33世)	小1件 (保・体)	〒951 新潟市白山通2丁目94 Tel33-0178	附属高田小(2年) 新潟市中央南(55) 新潟市中央南(58) 養 恵美子(三木西田小)
113	-	-	■■■■	43 (43) 芸体	$\frac{3}{20}$	新大 (39)	中1件 高2件 (保体)	〒950-21 新潟市曙町日通2-6 Tel67-7037	
114	社会教育課	副課 長	■■■■	52 (29) 小	$\frac{3}{32}$	新大 高田分 (29)	小1件 (理)	〒950 新潟市東出平路7-13 Tel83-9669 大内庄	下越教育事務所 社教主事 (長岡市東区内) 3年
115	文化行政課	文化 財団 職員	■■■■	33 (50) 小	$\frac{1}{9}$	日大 (50)	小2件 中1件 高2件 専修大	〒954 見附市昭和町1-9-10 Tel0258-3-2392	
116	-	-	■■■■	27 (55) 小	$\frac{1}{6}$	新大 (55)	小1件 中1件 高2件 (社)	〒940 コーポアベ185号 長岡市御神田3-10-2 Tel0258-35-8039	養 悠(大手高講師)
117	下 教育事務所	管理 主事	■■■■	53 (28) 小	$\frac{2}{33}$	高 分 (28)	小1件	〒951 新潟市学校町3の5322 Tel65-1079 前2若松庄7号	文芸青年中央研修 (57)
118	-	先端 専主 事	■■■■	51 (30) 中	$\frac{2}{29}$	新大 (32)	中1件(理)	〒940 長岡市下山1-247-3 Tel0258-27-4680	
119	-	目録 主事	■■■■	52 (29) 小	$\frac{1}{306}$	高 分 (29)	小1件(国)	〒950-12 白根市白根大通1-9-11 Tel02537-9-2879	社教講習(47)
120	が たわ センター	事務 主任	■■■■	50 (30) 小	$\frac{2}{263}$	立止大 (32)	高2件 小2件 高2件(社)	〒951 新潟市西山通2-3-10 Tel31-3793 宮家庄2F-D	現職大講師(58年度)
121	-	指導 主事	■■■■	43 (40) 小	$\frac{3}{21}$	新大 (40)	小1件 中2件 (社)	〒951 新潟市白山通2-652 Tel33-6858 アパルト白山105	学校カウンセラー(48) 風枝大長(54) 妻・周子(南木町小)

資料1 「公孫会」名簿の一例(「役所の部」)。「公孫会」の名簿は年度ごとの名簿と地域・学校ごとの名簿と分冊で作られており、これは後者の新潟支部のうち、県教委関係会員のページで「役所の部」とされている。ちなみに「ときわ会」は県教委関係会員で「県庁支部」をつくっている。本名簿では家族(妻)の勤務先まで記載されている。なお最上段のNo.104は義務教育課参事のための欄であるが、なぜか空欄になっている。

長岡									
附属幼稚園	副園長	██████████	55	新一師	昭26	2/34	音楽・学芸	見附市本所1-19-42 〒954 ☎(0258)63-3233	
	教諭	██████████	30	新潟大教	昭53	0/4	社会・生指・陸上	長岡市地蔵1-4-14 地蔵器具倉 〒940 ☎(0258)36-7218	
長岡聖	教諭	██████████	55	新潟大教	昭29	4/33	特殊	長岡市市町2-2-4 〒940 ☎(0258)34-1642	
"	教諭	██████████	49	新潟大教	昭33	6/27	技京・生指	長岡市希望ヶ丘3-9-3 〒940-21 ☎(0258)27-2867	
柏崎養護 のきく分	教頭	██████████	47	新潟大教	昭35	3/25	情障	長岡市山田3-4-8 西沢アパート 〒940 ☎(0258)36-2188	
"	教諭	██████████	58	大谷大子科	昭24	4/35	英語・保体	長岡市川崎4-299-4 〒940 ☎(0258)35-9557	
"	教諭	██████████	43	新潟大教	昭39	3/21	特殊	長岡市今朝白1-16-14 〒940 ☎(0258)36-8858	
月ヶ岡養護 ふけほの分	教頭	██████████	57	新潟大教	昭26	7/34	特殊	長岡市水穴町2-108 〒940-01 ☎(0258)44-8253	
"	教諭	██████████	31	山形大教	昭51	2/2	社会・特殊	長岡市希望ヶ丘南5-11-22 〒940-21 ☎(0258)29-2053	
"	教諭	██████████	24	新潟大教	昭58	2/2	社会・特殊	長岡市栄町4-119-1 東濃アパート 〒940 ☎(0258)36-0383	
上越教育大 大学院	教諭	██████████	38	新潟大教	昭45	7/14	音楽・音楽	上越市東町3-5-45 コーポ天安 〒943 ☎	
新潟大教 大学院	教諭	██████████	33	新潟大教	昭49	0/11	社会・特活・水泳	長岡市英国2-1-11 〒940 ☎(0258)36-3678	
中越事務所 学校管理課	管理主事	██████████	53	新潟大教	昭29	3/31	英語・生指	長岡市昭和1-11-9 〒940 ☎(0258)34-0152	
"	管理主事	██████████	53	新潟大教	昭30	2/30	理科・学芸	長岡市英国2-2-29 〒940 ☎(0258)33-7111	
"	指導課長	██████████	53	新潟大教	昭30	1/30	社会・道徳	長岡市希望ヶ丘1-88-8 〒940-21 ☎(0258)27-2214	
"	指導主事	██████████	52	新潟大教	昭30	0/30	国語・学芸・卓球	柏崎市幸町3-27 〒945 ☎(0257)24-2700	
"	指導主事	██████████	50	新潟大教	昭32	0/28	理科・道徳	長岡市昭和1-10-35 〒940 ☎(0258)36-1123	
"	指導主事	██████████	49	新潟大教	昭34	0/25	英語・生指・卓球	見附市本所1-21-37 〒954 ☎(0258)63-0301	
"	社教主事	██████████	51	新潟大教	昭31	1/31	社会・道徳	南魚沼郡横沢町榎野沢453 〒949-64 ☎(0257)82-0812	
社会教育課	社教主事	██████████	51	新潟大教	昭31	0/31	図工・生指	柏崎市土倉887 〒945-01 ☎(0257)24-2799	
長岡市教育 委員会	管理主事	██████████	52	新潟大教	昭30	0/30	数学・学芸	見附市湊山町976 〒954 ☎(0258)62-6524	
"	指導主事	██████████	51	新潟大教	昭31	2/28	数学	長岡市地蔵2-2-4 〒940 ☎(0258)36-6548	
"	指導主事	██████████	51	新潟大教	昭32	2/30	国語・生指	長岡市四郎丸4-11-25 〒940 ☎(0258)34-0049	
"	指導主事	██████████	47	新潟大教	昭35	1/25	社会・特殊・柔道	三島郡与板町本身板3 〒940-24 ☎(0258)72-2806	
"	A V主事	██████████	44	玉川大文 通協	昭39	2/17	理科・視聴	長岡市南町2-4-10-406 〒940 ☎(0258)36-5562	
長岡地区理 科センター	専任所属	██████████	41	新潟大教	昭41	1/19	理科	長岡市堀金2-12-2 〒940 ☎(0258)24-0685	
新教祖長岡 支部	書記長	██████████	41	新潟大教	昭41	2/19	社会・生指・野球	長岡市曲新町1-10-42 〒940-11 ☎(0258)34-1651	

資料2 「ときわ会」名簿の一例（「長岡支部の部」）。本ページは「長岡支部」の最後のページで、附属学校、養護学校、大学院在籍者、県教委中越教育事務所関係、長岡市教委関係、新教祖長岡支部関係会員などが記載されている。すべて「ときわ会」のもと、同じ穴のムジナというわけである。

番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
学校名	東中	"	"	"	"	"	"	"	"	
職	校長	教諭	"	"	"	"	"	"	"	
氏名	黒川 隆	黒川 隆	黒川 隆	黒川 隆	黒川 隆	黒川 隆	黒川 隆	黒川 隆	黒川 隆	
性別	男	"	"	"	"	"	"	"	"	
生年	昭和九年	昭和九年	昭和九年	昭和九年	昭和九年	昭和九年	昭和九年	昭和九年	昭和九年	
生活居住地	長岡市東区	長岡市東区	長岡市東区	長岡市東区	長岡市東区	長岡市東区	長岡市東区	長岡市東区	長岡市東区	
電話	〇二五八	〇二五八	〇二五八	〇二五八	〇二五八	〇二五八	〇二五八	〇二五八	〇二五八	
経歴	長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校	長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校	長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校	長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校	長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校	長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校	長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校	長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校	長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校	長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校 長岡工業学校
所属	長岡市立北中学校	長岡市立北中学校	長岡市立北中学校	長岡市立北中学校	長岡市立北中学校	長岡市立北中学校	長岡市立北中学校	長岡市立北中学校	長岡市立北中学校	
現任校	長岡市立北中学校	長岡市立北中学校	長岡市立北中学校	長岡市立北中学校	長岡市立北中学校	長岡市立北中学校	長岡市立北中学校	長岡市立北中学校	長岡市立北中学校	
勤務年	21	21	21	21	21	21	21	21	21	
主務	校長	校長	校長	校長	校長	校長	校長	校長	校長	
兼任	校務分掌	校務分掌	校務分掌	校務分掌	校務分掌	校務分掌	校務分掌	校務分掌	校務分掌	
資格	校長	校長	校長	校長	校長	校長	校長	校長	校長	
担当	担当	担当	担当	担当	担当	担当	担当	担当	担当	

であるが、学校ごとに会員が記載されている。名簿には校務分掌、関係役職、「校長テスト」合格年度、担当部活等も記載されている。

23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10
"	"	"	"	北中	"	南中	"	市長 教育 委員	中教 所 指導 主任	"	"	"	東中
"	"	"	教諭	校長	"	教諭	主任 指導 主任	主任 指導 主任	主任 指導 主任	"	"	"	教諭
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	男
53	54	57	58	57	54	57	56	53	50	29	36	39	41
長岡市本町四丁目五 番五	長岡市明和 二丁目一四	長岡市金房二丁目一七	長岡市四ノ宮二丁目五 番五	長岡市本町一丁目三 番四	長岡市川崎 一丁目二六五の三	長岡市南町二丁目 一四七の五	長岡市本町一丁目一 番五	長岡市本町一丁目一 番五	長岡市本町一丁目一 番五	長岡市本町一丁目一 番五	長岡市本町一丁目一 番五	長岡市本町一丁目一 番五	長岡市本町一丁目一 番五
○二五八六 ①一七一九	○二五八八 ②三三六四	○二五八八 ③四五七一	○二五八七 ④二五二四	○二五八八 ⑤三三九四	○二五八八 ⑥三三〇七	○二五八八 ⑦二五八八	○二五八八 ⑧三九九五	○二五八八 ⑨四四四九	○二五八八 ⑩二五三八	○二五八八 ⑪二五三八	○二五八八 ⑫二五三八	○二五八八 ⑬二五三八	○二五八八 ⑭二五三八
S 二九・三	S 三〇・三	S 二二・三	S 二〇・九	S 二四・三	S 二五・三	S 二〇・三	S 二四・三	S 二九・三	S 二九・三	S 二九・三	S 二九・三	S 二九・三	S 二九・三
高一(社)	高一(英)	高一(理)	高一(数)	高一(理)	高一(英)	高一(社)	高一(理)	高一(社)	高一(数)	高一(理)	高一(数)	高一(数)	高一(数)
4	2	4	3	2	1	4	2	0	1	1	2	3	1
30	29.10	34	37	35	34	34.4	34.6	30	29	7	14	19	20
教務主任	一学主任	教務主任	三学主任	校長事務	道徳	庶務主任	庶務主任			体育主任	生徒会主任	生徒会	交通安全
庶務代議事	庶務幹事			代議員									交通安全
S	S	S	S	S	S	S	S	S	S			S	S
44	45	41	47	41	45	42	42	44	46			53	51
陸球	排球	サッカー	庭球		剣道	郷土 クラブ				柔道	卓球	バレー	陸上

資料3 「新陽会」名簿の一例(「柏葉会」の部)。「柏葉会」は長岡市、柏崎市、三条市、十日町市などを包含する「新陽会」の地域支部組織で中越教育事務所の管内地域と一致させてある。「ときわ会」や「公孫会」の名簿もそう

氏名 (年令)(生年月日) (昭和60.1.1現在)	職名 へき地用 (合格 取得)	職名(学級数)	職年数 全勤年数 (教諭へ転 期60.3)	学歴 (登平年月)	研究教科 主任(主事) 特 技	生活困難地 郵便番号 現住所 郵便番号	電 話 番 号	住 居 地 址	前住居 地 址 (年数) 通勤方法 家族構成 支那の国籍校	
1 (59) (大14 10 25)	校長	長岡市岡南中(6)	特1の11 小1 中1(社) 中2(同) 高2(社)	2 35 (17)	高州立常訓高専(18.9) 日大(通)卒(30.3)	学校経営 社会	長岡市東宮内町3365 —4 940-11 同上	学校 0258-22-2251 自宅 0258-34-6144	長岡・夏小 小 公民 入事管理講習会 ヨーロッパ短期会 バス30分 兼下手小	O
2 (58) (大15 4 4)	校長	写振町写振中(9)	特1の16 中1(職) 中2(社)	4 11 (9)	佐藤四年(18.12) 清教院講習(18.7)	学校経営 技 術 美 術	長岡市東宮内町4-2-20 940 同上	025872-3161 自宅 0258-28-0051	中越教育研究所学校指導員 副会長 教育大教育相談講師(同) 文部省中央研修会(同) バス(50分)	A
3 (58) (昭 2 2 10)	校長	越前町東谷小(4)	特1の14 小2 中1(同・社)	3 34 (8)	柏崎西卒(18.12) 明治大文芸科卒(26.3)	図 画 特 技	柏崎市徳政町6-1 945 同上	学校 02589-4-2212 自宅 0257-23-1020	古志・竹沢小 支那員・国対委員 教育大指導主事講習会 海外視察研修会 自家用車40分	A
4 (53) (昭 6 9 19)	校長 へ2 古志兼竹沢小(3)	特1の11 小1	特1の11 小1 (2)	2 32.4 (2)	村上高校卒(26.3)	学校経営 特 技	村上市二之町10-8 958 古志山古志村兼竹沢 947-02	学校 025859-3562 自宅 02545-2-5805 教住 025859-2057	岩船・砂山小 全国へき地研究員(15.16) 内地留学6ヵ月 社教主事講習会 次女 古志西小	A
5 (53) (昭 7 2 21)	校長 へ1 古志竹沢小(6)	特1の16 小1(同) 中1(社) 中2(同) 高2(同)	特1の16 小1(同) 中1(社) 中2(同) 高2(同)	1 33.11 (3)	上野高専卒(25.3) 慶応義塾大卒(31.9)	図 画	長岡市左近町35-2 940-11 山古志村竹沢教住 940-12	学校 025859-2047 自宅 02584-36-8273 教住 025859-2009	五反・庄神中 10周年記念法編委員会 学校カウンセラー養成会 教育大主事講習講習会 短期海外研修会	A
6 (53) (昭 7 3 22)	校長 へ2 新尾市比礼小(2)	特1の11 小1	特1の11 小1 (9)	2 32.6 (9)	県立安原高専(25.3) 法政大2修(32.2)	通 達 表 達	東郷大島村仁上 942-12 新尾市比礼 940-02	学校 02585-2-5060 自宅 02559-4-2005 現住 02585-2-5671	東郷・陸之山岡田小 教育大講習会 切実 兵男 元一 尚飯北匠小	AB
7 (59) (大14 5 25)	教 諭	古志竹沢小(6)	1の29 小1	2 10 (6)	長岡中卒(19.3) 新藤研究科(24.3)	図 工	長岡市砂見町239 940-11 同上	学校 02589-2047 自宅 0258-23-2450	小千谷・塩谷小 支那国対副会長 自家用車15分	O I

資料4 「検友会」名簿の一例(「長岡支部の部」)。「検友会長岡支部」は長岡市・栃尾市・古志郡・三島郡を包含する。「検友会」の名簿では校長、教頭、教諭の順に記載されており、「校長」ポストはこの地域で6ポストであることがわかる。名簿にはへき地勤務の年数、通勤の方法家族教員の勤務先、それに血液型までが記載されている。また電話連絡網の図があわせて記載されている。



新潟県教育界における「学閥」問題

にいがた県民教育研究所「学閥」研究会

「新潟の教育情報」(第1回〜第21回)連載総目次

\*プロローグ・なぜ「学閥」を問題にするのか(第1回)

第1章 「学閥」の現状と利権支配の実態―その利権支配と差別の構造―

(第2回、第3回)

第2章 「学閥」は何をしてきたのか―その歴史にみる

「学閥」の本質―

(第4回、第5回)

第3章 学校の民主的運営・民主的教師集団づくりと「学閥」―管理主義教育制から学校・教師・子どもが

活力をとりもどすために―

(第6回、第7回)

第4章 「派閥」にみる教師論・教育観(第8回)

第5章 「派閥」の本質(第9回、第10回、第11回)

第6章 日本の教育界の後進性と「派閥」(第12回)

第7章 徹底分析・一九六九年春の校長・教頭の転任・昇任にみる「派閥」の公教育支配(第13回)

第8章 新潟県の各市町村・学校・組合における「派閥」

支配の実態

(第14回、第15回、第16回、第17回、第18回)

第9章 新潟県教育界における権力の所在とその行使―教育委員会は「空洞」、権力は私的な「派閥連合システム」が完全掌握(第19回)

\*エピローグ・連載を終えるにあたって(第20回)

\*総目次、図表類一覧および索引(「派閥」が支配しているポスト)(第20回、第21回)

第1回(「新潟の教育情報」、第9号、一九六〇年四月、pp.七五、

六二―七)

\*プロローグ・なぜ「学閥」を問題にするのか

\*資料一九六〇年度新潟県公立小・中学校校長・教頭ポスト会

派別一覧表

第2回(「新潟の教育情報」、第11号、一九六〇年七月、pp.三

六―七)

第1章 「学閥」の現状と利権支配の実態―その利権支配

と差別の構造―

\*一九六〇年の異動にみる「学閥」の論理

\*各派閥についての簡単な「紹介」

1、ときわ会、2、公孫会、3、新陽会、4、検友会、

5、青菡会、6、新潟県女教員会、7、新潟大学教育



## 学部同窓会

行われている

\* 養護学校までが「派閥」の支配下に

\* 公正な人事をつかさどるべき管理主事も「派閥」で分配

第3回(新潟の教育情報)、第12号、一九六〇/二/二五、PP五七

## 六)

\* 市町村教育長も「派閥」校長の「天下り」ポストに

\* 「ときわ会」の内輪もめで新発田市教育委員に欠員が

\* 利権は踊る―はじめたらやめられない「派閥」の利権支配―

\* 国立大附属学校教員も「派閥」の指定席

\* 教育センターや理科センターも「派閥」の指定席に

\* 学協や厚生財団も「派閥」連合で運営

\* 現職教員の大学院進学も「派閥」の沙汰次第

\* 新潟大学大学院入学試験は三年連続同一問題

\* 「派閥」への加入は「閥的人事異動」に対する保険?

\* 一般教員も学校ごとに「派閥」によって系列化

\* 採用三年後の青年教師の異動の実態と「派閥」の介入

\* 新潟市・長岡市・上越市への異動をめぐる「派閥」の利権支配

\* 西蒲原郡からの転出は「ときわ会」優先、女性はへき地に

\* 西蒲・吉田小学校で「ときわ会」の「異動事前面接」が

第4回(新潟の教育情報)、第13号、一九六〇/三/一五、PP〇三

## 二)

第2章 「学閥」は何をしてきたのか―その歴史にみる

## 「学閥」の本質―

\* 「学閥」のルーツは管理職ポストの争奪から

\* 教育疑獄―「学閥」の人事異動利権にまつわる汚職事件―

\* 「検友会」の当初の活動とその後の変遷

\* 「奉安殿」を師範学校に寄贈

―軍国主義教育の推進者としての「学閥」―

\* 「無明会」と「新潟県教育労働者組合」

―戦前における新潟県教員の先進的活動―

1、無明会、2、新潟県教育労働者組合、

3、戦前の生活綴方教育運動

\* 戦後の教育の民主化・組合の発足と「学閥」

第5回(新潟の教育情報)、第14号、一九六〇/六/一、PP四

## 五)

\* 「学閥」の生き残り作戦とGHQとの接触

\* 新制中学校の発足と「新陽会」の形成

\* 「学閥」に対する新教組のたたかいと「学閥」の策動

\* 組合役員を引きおろしに「学閥」の使者が組合事務所へ

―「学閥」連合による組合「乗っ取り」事件―

\*講師裁判―青年女性教師の教員採用差別に対するたたか  
い―

\*新教組県本部人事は「ときわ会」と「公孫会」が統制

―「派閥」のポストと組合役員の「打合せ会」も―

\*「新潟大学教育学部同窓会」も「ときわ会」の「閥中閥」  
に

―片や「高分協」は「公孫会青年部」に―

\*新潟大学教育学部の統合・上越教育大学の開設と「学閥」  
の介入

\*宙に浮く「公孫会員」の涙の献金・1億円

―「公孫会」と「ときわ会」のそれぞれの「記念事業」―

\*新潟県教員採用試験問題出題者が「講師」の「教授研修  
会」と「派閥連合」による不明瞭な教員採用

\*「初任者研修」の「試行」計画とその受け皿としての

「派閥」

\*「派閥」の「歴史と伝統」ははたして「輝かしい」か？

第6回（「新潟の教育情報」、第15号、一九七〇／一五、pp.5-

七）

第3章 学校の民主的運営・民主的教師集団づくりと「学  
閥」

―管理主義教育体制から学校・教師・子どもが活力をと

りもどすために―

A、一九七〇（昭和四五年）年の異動にみる「派閥」の管理職ポ  
スト支配の実態と「閥内競争」の内側

\*一九七〇（昭和四五年）年の教頭昇任は「検友会」が倍増

―校長・教頭への昇任も所属「派閥」の空きポスト次第―

\*学校ごとに固定した校長・教頭の所属「派閥」

―「公孫会」の「拠点校」につくりかえられた新発田市松  
浦小学校―

\*「派閥」の「指定席」を利用した「玉つき」人事異動

―一九七〇年の管理職異動にみる人事異動の動態―

\*「新聞辞令」の雁首写真にも「派閥」への「気くばり」  
が

―はからずも露呈する県義務教育行政の「派閥感覚」―

\*洗脳・自己規制・「忠誠競争」の過程としての「派閥人  
生」

―教師の生きがいを矮小化させる「閥内競争」―

\*一九七〇年（昭和四五年）年度の新任教頭の年令分布

―新任教頭にも四才から五才まで十六年の年令幅が―

\*「管理主事」は各「派閥」のエージェント？

―「公孫会長」が「校長・教頭異動案審議資料」のとり  
まとめを「指令」―

\*「耳にすること・思うこと」と「ときわの心」

―ある「派閥」幹部・「派閥」会員の「派閥感覚」―

\*「マル共」―「批判者」への「攻撃」の常套手段  
―戦前の暗黒時代を思わせる「反共」攻撃―

第7回（「新潟の教育情報」、第15号、一九七〇/三/三、pp.七  
―七）

B、戦後の管理主義教育体制強化の系譜

- ―管理強化・多忙化・教育内容統制の「歴史」とたたかい―
- 1、池田・ロバートソン会談と狙われる「教育」
- 2、教育の地方自治を圧殺する「地教法」の強行成立  
と「学校管理規則」の制定

3、「教育内容統制」としての「学習指導要領」の改訂  
―その「拘束性」の強化と「道徳」の特設―

4、民主的教師集団形成を分断する「主任制」・「初任  
者研修」

C、学校の民主的運営と「学園」―とくに「校務分掌」を  
めぐって―

\*職員会議の活性化は学校の民主的運営のかなめ

―「校務分掌」組織にみる職員会議の位置づけ―

\*類型化する校務分掌の「形式」

―「協業」の視点をふまえ、実情にあった校務分掌の工  
夫を―

\*学校における「タテ系列」の管理支配

―「職階制」を「裏打ち」する「派閥」の「論理」―

D、「派閥」の新人会員獲得作戦の実態とその手口

\*新人教師も「組合」よりまず「派閥」に加入

―まずまず過熱・「低年令化」する「派閥」への勧誘

\*「職権乱用」と「利益誘導」が「勧誘」の最大の手口

―「大義名分」のない「派閥」への「黒い勧誘」―

1、校長や教頭による職権乱用と「利益誘導」

2、「恩師」や地縁・血縁・同窓の関係を利用した「恩  
義」と「しがらみ」にもとづく「圧力」

第8回（「新潟の教育情報」、第17号、一九七〇/三/三、pp.七―八）

第4章 「派閥」にみる教師論・教育観

\*午後八時退校が「常態」となっている学校も

―過密・長時間労働と進行する教師の健康破壊―

\*「滅私奉公」―「派閥」の労働観―

―はたらく者の権利には無知・敵視―

\*憲法・教育基本法は念頭になし

―意識調査にみる校長の「教育観」―

\*自立した専門職にふさわしい自主研修の保障を

―研修のあり方をめぐって―

\*「教育団体としてのときわ会」・「良識ある研修団体」

公孫会

―「派閥」の詭弁と強弁―

\*形式主義化する「派閥」の「教育実践」

―「教育実践」そのものより「実践報告」が大切―

\*「スジ」を通すより「義理」通せ

―「派閥」の「世界」は「義理」と「情実」―

\*新潟県における教員採用の動向と「派閥」

―採用差別をなくし、公正で適切な教員採用の実現を―

第9回（新潟の教育情報」、第18号、一九六〇／六／二五、PP六〇

三三）

第5章 「派閥」の本質

A、一九六〇（昭和三三）年の異動にみる「派閥」の公教育支配・

利権支配の実態

\*管理職ポストは各「派閥」の「指定席」

―校長の異動にみるポストの私物化―

\*一九六〇年の人事異動にみる「派閥」の介入

―とくに新潟市・上越市への転入をめぐって―

B、「多重人格」としての「派閥」の本質

―「派閥」の本質を斬る―

1、究極の県教育界支配「ときわの会県庁支部」

―公教育を支配する「インフォーマル組織」としての「派閥」―

第10回（新潟の教育情報」、第19号、一九六〇／八／三、

PP二九四）

\*「指定研究」や部活動も「派閥」が統括

―「準官製」組織を通じた「派閥」の公教育支配―

\*「校務分掌」も「派閥」の「酒席」で決定―

―日常の学校運営にもしみわたる「派閥」の公教育支配―

2、附属学校人事をめぐる怪文書

―反民主主義的利権集団としての「派閥」―

\*管理主事が「派閥」の「酒席」で異動の面接・懇談―

―「公孫会柿崎支部」の一年間の「活動日誌」から―

\*「公孫税」は高いけど・・・

―利権を背景にした「集金機構」としての「派閥」―

3、女性教員の「統制」・「催眠」機構としての「女教員会」

―「統制」と「競争」と「かばい合い」の「機構」としての「派閥」

―

\*「派閥」は「冠婚葬祭」互助センター？

―「かばい合い」の機構としての「派閥」―

第11回（新潟の教育情報」、第20号、一九六〇／二／三〇、PP六

三三）

4、「世界の中の日本人たらん」としてベネズエラに赴

いた「ときわ会員」

― 国策的教育追隨・推進団体としての「派閥」―

5、組合幹部役員も「派閥」で「候補者」を決定

― 反共右翼的・反勤労者的政治集団としての「派閥」―

\* 新教組西浦・燕支部委員長は「管理職」への道

― 「ときわ会」の「年度会」が順ぐりに委員長候補者を  
選定―

\* 組合幹部が「ときわ会」幹部や県教委関係者と温泉ホテルで「組合対策」を相談

― 「派閥」から資金も援助・これは不当労働行為―

\* 組合運動の第一歩は民主的な職場づくりから

― 「派閥」や管理職の介入をゆるさない組合活動を―

\* 「君が代」の歌詞を言え、歌の意味は？ 「君が代」をどう指導するか？

― 教員採用面接時から憲法違反の「思想チェック」―

\* 国民教育の充実に敵対する「派閥」の政治路線

― 「ときわ会」幹部が中学校の「解体」を主張―

第12回（「新潟の教育情報」、第21号、一九六〇年五月、pp.六六

三）

第6章 日本の教育界の後進性と「派閥」

\* 「裏の新潟・表の愛知」・全国に恥さらしの「派閥」の

公教育支配

― 他県の人は聞いてびっくり―

\* 屈辱の派閥「検友会」

― かたちになった立身出世第一主義と学歴差別への奴隷―

\* へき地の小規模校が多い「検友会」の管理職「指定席」

― 校長ポストは教頭の三分の二―

\* なりたくてなりたくて、たまらなかつた校長職

― 「閥的人間」は歩く奴隷根性―

\* 「派閥」の年度会は江戸時代の五人組

― 青年教師の教育観・教師観をゆがめる「派閥」社会

\* 「派閥」のなすがままの新潟県の義務教育行政

― 問われる教育委員会・教育長の責任―

\* 高石元文部次官のパーティー券を押しつけた文部省

― 新潟県では教育長・県教委幹部が十八枚を購入―

\* 「道徳教育」推進・「ひろい心・公共の精神」のウラで

リクルート汚職

― 教育政策を支配するものの腐敗―

第13回（「新潟の教育情報」、第22号、一九六〇年七月、pp.六六

三）

第7章 徹底分析・一九六〇年春の校長・教頭の転任・昇任に

みる「派閥」の公教育支配

\* 「ときわ校長」のあとには「ときわ校長」が

― 乗っ取られた公教育―

\* 「女教員会」ポストは「ときわ会」と「公孫会」の「貸席」

―「女教員会」ポストのカラクリ―

\* 学校の統合・新設の裏で「派閥」のポスト争い

―新潟市下山中・五十嵐中学校長は「公孫会」の手に―

\* だが校長や教頭の昇任を決めているのか？

―公的昇任人事も「派閥」が制圧―

\* 教頭への道は―に「派閥」への忠誠、二に主事・附属学

校教員・組合役員（「派閥」御用組合派）経験

―一九九九年春の昇任者にみる「閥内競争」の論理―

\* 「ときわ会」への最短コースは新大卒・附属学校教員

―「学歴・肩書」偏重・形式主義の「ときわ会」―

\* 「習しと絞め上げの公孫会」、

「形式とボンクラのときわ会」

―「派閥」社会のいきつく先―

第14回（「新潟の教育情報」、第23号、一九九〇/三、PP三〇

三）

第8章 新潟県の各市町村・学校・組合における「派閥」

支配の実態

\* 新潟市

\* 長岡市・栃尾市・古志郡・三島郡

\* 上越市

第15回（「新潟の教育情報」、第24号、一九九〇/三、

PP六八）

\* 新潟大学・上越教育大学附属学校

―附属新潟小・中学校、長岡小学校は「ときわ会」の巢、

長岡中学校は「ときわ会」と「公孫会」で教科ごとに分

配―

\* 附属新潟小学校

\* 附属新潟中学校

\* 教育学部附属養護学校（新潟市）

\* 附属長岡小学校

\* 教育学部附属幼稚園（長岡市）

\* 附属長岡中学校

\* 上教大附属小学校

\* 上教大附属中学校

\* 新発田市・豊栄市

\* 西蒲原郡・燕市

\* 柏崎市

\* 自分でできる「派閥」チェック

―教員異動の新聞報道の使い方―

（四）

第16回（「新潟の教育情報」、第26号、一九九〇/三、PP三

三）

\* 校長・教頭の採用試験は無効

- 「派閥」の介入をゆるさず、公正な再試験の実施を—
- \*消滅しつつある「派閥」—「青眞会」—
- 後釜ポストは各「派閥」で談合的分配—
- \*下越地方にも点在する「公孫会」ポスト
- 「公孫会」の害毒は山形県境にまで及ぶ—
- \*中学校長ポストにみる「三古魚沼」ライン
- 中越地域における「教育団体」の縄ばり—
- \*管理職になるための「派閥度」チェック
- あなたも小・中学校の管理職になれる!!—

第17回（「新潟の教育情報」、第27号、一九七〇/三/三〇、PP八六

九八）

- \* \*新潟県教育委員会（教育庁）における「派閥」支配
- \*県教育庁義務教育課
- 管理主事・指導主事はすべて「派閥」の「指定席」—
- \*総務課・社会教育課・文化行政課・保健体育課
- 県立自然科学館の展示専門員や国体準備職員も「派閥」で分配—
- \*下越教育事務所
- \*中越教育事務所
- \*上越教育事務所
- \*新潟県立教育センター
- \*新潟県立青少年研修センター

- \*新潟県立少年自然の家
- \*新潟県視聴覚ライブラリー
- \*新潟県立美術博物館
- \*新潟県保育専門学院

第18回（「新潟の教育情報」、第28号、一九七〇/四/三〇、PP三

二）

- \* \*市町村教育委員会における「派閥」支配
- \*「派閥」の地域教育支配の道具としての「教育長」
- 市町村教育長にみる「派閥」のポスト支配—
- \*教育長をよびつけ、懐柔する「ときわ会」
- 二市・北蒲原郡地域における「ときわ会」の非常識—
- \*「派閥」支配のもとで形骸化した教育委員会
- 市町村教育委員会における「派閥」支配—
- 1、学校教育課長、2、管理主事、3、指導主事、4、視聴覚主事
- 5、理科センター専任役員、6、社会教育主事
- \*教育委員会から組合人事までを一括管理する「派閥」
- 「ときわ会本旨」は「ときわ会本質」に変更が必要—

第19回（「新潟の教育情報」、第29号、一九七〇/七/三、PP三

三）

第9章 新潟県教育界における権力の所在とその行使

「教育委員会は「空洞」、権力は私的な「派閥連合システム」が完全掌握」

1、新潟県の管理職人事と教育行政職人事異動は「派閥」の「玉突きユニット」の集合体―一九二九年の「新陽会」の異動にみる「派閥」の公教育支配の構造（カラクリ）―

2、校長や教頭は「派閥」が勝手に決めていく

―「ときわ会」、「公孫会」、「校友会」それぞれの玉突き人事異動ユニット―

a、「ときわ会」の玉突きユニット

b、「公孫会」の玉突きユニット

c、「校友会」の玉突きユニット

\*「派閥」の玉突きユニットに組み込まれた女性管理職

―「派閥」支配を容認し、屈従する「女教員会」―

\*新潟県の女性校長は三年間でたったの4名の増

―岡山県ではここ4年間で約3倍（9↓29名）に―

\*新教組本部四役経験者はすべて管理職に

―一九二九年に組合役職を終えた「派閥」会員のその後―

第20回（「新潟の教育情報」、第30号、一九二〇／一／八、PP七八

五）

\*エピソード・連載を終えるあたって

\*付録Ⅰ 連載総目次

第21回（「新潟の教育情報」、第31号掲載予定）

\*付録Ⅱ 図表類一覧

\*付録Ⅲ 索引；「派閥」が支配しているポスト

第九号より連載してまいりました「新潟県教育界における『学園』問題」は、次号に掲載する付録Ⅱ（図表類一覧）、付録Ⅲ（索引）をもって一応終結となります。長い間のご愛読、本当に有難うございました。

この後は、しめくくりとして、中央の研究者による評論や現場教員の証言などを掲載していく予定です。については、現職、あるいはすでに退職された先生方の、「学園」問題に関わる具体的な事例を通しての証言をお寄せ頂きたいのです。四〇〇字詰め原稿用紙で七〜一〇枚程度（お申し越しくだされば原稿用紙をお送りします）、第一次の締切を三月末といたしますので、ぜひご協力ください。

なお、本連載の内容を整理し単行本として出版する準備もすすめているところです。

（編集部）